

「読書案内・読書会」（こひつじ文庫大人部）のご案内

NHKの「100分de名著」・「カルチャーラジオ」等で紹介された名著を参考にして、「読書案内・読書会」を行っています。「読書案内人」（専門は化学）は、取り上げるほとんどのテーマについて全くの素人ですが、「名著」のあらすじや背景を紹介させていただき、参加された方々と「名著」の感想などを語り合っています。

予習の必要はありません。どなた様も気軽にご参加ください。

第19回読書会のテーマと開催予定：

テーマ：『ソクラテスの弁明』

日時：2020年2月29日（土）13:00-14:20

場所：神港教会2階教室

資料・茶菓代：200円

紹介図書の説明：

『ソクラテスの弁明』は、紀元前393年頃にソクラテスの弟子であるプラトンによって記された、古典中の古典といつていい名著です。西研先生は、「ヨーロッパ人にとっての『哲学することのイメージの原型』となってきました。まさに『哲学とは何か』を説いたものであり、哲学への誘いの本といえます」と記しておられます（下記参考図書①）。

哲学というと難しいようですが、この書は「裁判劇」ともいえるもので、文学的にも名著とされています。被告であるソクラテスが、裁判官と聴衆に向かって、自分が行ってきたこと、そして、人間にとって大切だと信じていることを、語りかけます。裁判の結果は死刑でした。プラトンが、この「不当な裁判」とソクラテスの思想（プラトンの思想）を著作として残したことによって、ソクラテスの語りかけは、後の時代の人々にも大きな影響を与えてきました。私たちも共感するところが、多くあると思います。

『ソクラテスの弁明』については、多くの訳書が出版されています。納富信留訳（光文社古典新訳文庫）、三嶋輝夫訳（講談社学術文庫）は、訳が新しいだけに読みやすいと思いました。

読書会では、以下の本などを参考にして、紹介をする予定です。

- ①別冊NHK100分de名著 読書の学校『ソクラテスの弁明』（西研著、2019年）
- ②『プラトンとの哲学』（納富信留著、岩波新書、2015年）
- ③『クリトン』、『パイドン』（プラトン）（『ソクラテスの弁明』の続編ともいべきものです。）

これまでに取り上げた図書：

『パンセ』（パスカル）、『相対性理論』（アインシュタイン）、『幸福論』（アラン、ヒルティ）、『こころ』（夏目漱石）、『代表的日本人』（内村鑑三）、『武士道』（新渡戸稲造）、『高慢と偏見』（オースティン）、『星の王子様』（サン＝テグジュペリ）、『銀河鉄道の夜』（宮沢賢治）、『永遠平和のために』（カント）、『旧約聖書』、『斜陽』（太宰治）、『罪と罰』（ドストエフスキー）、『カラマーゾフの兄弟』（ドストエフスキー）、『銀の匙』（中勘助）、『大衆の反逆』（オルテガ）、『グリム童話』、『赤毛のアン』（モンゴメリ）、『マルテの手記』（リルケ）

図書の貸出し（児童書＋大人用図書）：

「こひつじ文庫」（児童文庫）に、大人向け本も設置していますのでご利用ください。

貸出し時間：毎週土曜日の14:00 - 16:00

読書会に関する問合せ先：shinkoukouen@gmail.com

神港教会

神戸市灘区山田町3丁目1-12

阪急「六甲」駅から北に約3分